

使っている花 ● アジサイ、シャクヤク(マキシマ)、
ミディコチョウラン、スプレングイリー



アジサイ

花言葉 | 元気な女性 / 家族の結びつき

梅雨の情緒、奥ゆかしき紫陽花
初夏の花々と涼しげに飾って

プロが伝授!花を長く楽しむアドバイス

- 茎は斜めにカットし、中の綿をナイフなどで掻き出すように取り除くと水揚げがぐっと良くなります。
- 房状の花を少し手で広げながら通気性を良くし、花が蒸れて傷まないようにしましょう。切り花栄養剤を使用すると長く楽しめます。

お家で簡単! 3ステップアレンジ

- ① ボウル状のガラスの器に水を張り、スプレングイリーの枝を丸めて水に沈め、水中花のようにします。葉の先端は飛び出してもOK。
- ② 器の高さにカットしたアジサイとシャクヤクを、器の縁に花をのせるようにこんもりと活けます。水に浸かってしまう葉は取り除き、茎の処理(上記)も忘れなく!
- ③ ミディコチョウランなどランを一本アクセントにあしらうと、アジアンモダンな印象に。

優しい雨にしっとり輝いて

梅雨の代名詞のようなアジサイは、古くは万葉集にも歌われ日本人に長く愛されてきた花。季咲きの紫陽花は水を宿したような瑞々しさが特徴で、繰り返す雨に移ろう花色が魅力です。幕末、オランダ人医師シーボルトが最愛の女性「お滝さん」の名前をとって「オタクサ」とヨーロッパで紹介したというエピソードも。

Hydrangea

